

外来担当医表

病院広報誌 秋号 No.27

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	山田 公文	市原 金森	松本 山口	稲田 金森	市原 稲田	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1.3院長 第2.4.5岡庭 第4太田
	小児科	長江	長江	長江	長江	長江	長江
	検査		腹部エコー野田 胃カメラ山田		胃カメラ 腹部エコー 松本	頸動脈エコー	
午後 14:00~16:00	内科	市原	山田	濱中	西村	松本	
	整形外科 外科	院長		岡庭		岡庭	
	小児科			予防接種 乳児健診	長江		
	検査	大腸ファイバー 山田・松本 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー		心エコー 市原	
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種		予防接種		予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1.3.5近藤 第2.4福富		市原 小坂		松本 第1.3.5尾関 第2.4木村	
	整形外科 外科	院長 岡庭		柿沼		岡庭 太田	
	小児科	長江		成瀬		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師募集中 担当 益田・菊池まで



笑顔

病院広報誌 秋号 No.27

平成24年10月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

瀬戸市南山町1-53

TEL (0561) 82-1118 小児予約専用 (0561) 82-1822
内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、[血液透析センター](#)

<http://www.seto-aoyama.jp>

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

大腸がん検診における便潜血検査 内科医師 松本 幸成



公費の補助により行われている大腸がん検診の検査である「便潜血検査」についてお話ししたいと思います。

便潜血検査は、その名通り「便に血が潜んでいるか、いないか」を判定する検査です。現在では免疫法といったヒトのヘモグロビン（血液の成分）にだけ反応する試薬を用いており、食事や鉄剤（貧血の薬）の影響も受けず、胃・十二指腸からの出血も少量であれば、胃・十二指腸・小腸を通過する間に消化酵素によって変化するため、ほとんど陽性とはなりません。

以上の特徴から「便潜血検査」は、明らかな血便といった自覚症状の無い方の、主に大腸からの出血の有無の診断に広く用いられています。しかし「大腸がん検診」と言っていますが、「陽性＝大腸がん」と言うわけではありません。便潜血検査が陽性といった段階では、「がん」とその他多くの出血を起こしうる病気とを鑑別する事は困難なのです。

話は逸れますが、「潜んでいない出血」つまり明らかな血便や黒っぽい便を「自覚」した場合はどうすればいいのでしょうか。その時は、便潜血検査を受けるまでもなく、内科を受診していただき、症状に応じた検査・治療を受けて下さい。

では、その他多くの出血を起こしうる病気にはどういったものがあるのでしょうか。痔（内痔核・外痔核）、裂肛（多分、硬い便が肛門を通過するときに粘膜を傷つけてしまった状態）、大腸憩室、大腸炎症性疾患（感染

性、虚血性、炎症性腸疾患など）、大腸ポリープなど様々な病気が考えられます。

大腸がん検診の受診者数は年々増加していますが、便潜血反応の陽性率は7%前後で推移しています。陽性の方の半分以上が、痔や裂肛、大腸憩室などの良性疾患であり、ポリープは30~50%、がんは3~4%程度と報告されています。つまり、検査で陽性になったとしても、直ちに「がん」を心配する必要はありませんが、必ず精密検査を行うべきと考えます。

しかし、実際に大腸カメラなどの精密検査を受ける方は、便潜血検査で陽性となり、精密検査が必要（要精検）な方の60%弱しかありません。大腸がん検診を受けた人の中で要精検となった方の中には「大腸カメラは痛そうだし、下剤も飲まなくてはいけないし、受けたくない。」という方や、「もともと痔があるし、たぶん痔からの出血だろうから心配ない。」と自己判断をして精密検査を受けない方がありますが、その中に毎年4000

(2 ページに続く)

人程の大腸がんの方が隠れている可能性があるのです。

確かに便潜血検査をしても、進行がんで、5～10%、早期がんで40～60%が便潜血検査陰性になるとの報告もあります。つまり、便潜血検査では早期がんの約半数は見つける事ができないと考えられます。しかし、進行がんで圧倒的（20倍以上）に便潜血陽性の人に多く見つかっています。大腸がんはがんの中でも比較的悪性度の低いがんであり、肝臓やリンパ節に転移をする前に治療ができれば8～9割治る病気です。また、検診陽性群と血便や腹痛、便通異常などがあって検査した群では、治療成績（根治率、5年生存率、入院期間など）に差が出たといった報告も多くあります。

どのようながんでも、早期発見、早期治療が第一です。特に40歳を過ぎたら、毎年検診を受け、もし、陽性となった場合は詳しい検査を受けるための良いきっかけだと思って下さい。

CARTとは (保険適用)

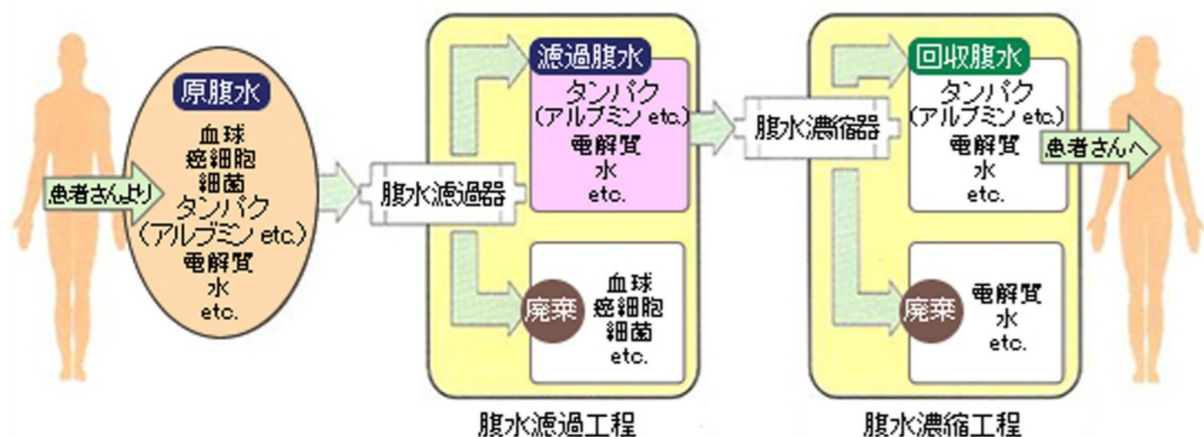
難治性腹水症に対する腹水ろ過濃縮再静注法 (Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy) の略称です。

ガンや肝硬変などによって溜まった腹水から、アルブミン等のタンパク成分を回収・濃縮して再び体内に戻す治療法です。実際には溜まった腹水（又は胸水）をバッグに取り出し、ろ過器を用いて細菌やがん細胞を除去した後、濃縮機で除水を行い、有用な物質を濃縮します。この濃縮された腹水を静脈から点滴して血液へ戻します。

効果は、お腹の圧ぱく軽減、苦痛の軽減により患者さんの生活の質が向上します。また、副作用として、点滴して体に戻す際に高い頻度で発熱することが報告されています。この治療法は塩分制限や利尿薬などによる治療でも改善しない難治性腹水症（胸水症を含む）の患者さんが、保険の適用となります。この治療法に関する質問などございましたらお気軽にご相談下さい。



当院で実際に行われた、ろ過濃縮の様子



診療録管理委員会

診療録は「カルテ」と言われており、みなさまが診察を受ける時に、症状や医師の所見、検査結果や薬の処方に至るまでのすべての診察行為を記録したものを言います。カルテには病気についての記載はもちろんのこと、住所や連絡先なども記されており、重要な個人情報だと言えます。そこで当院ではこの個人情報をしっかりと守ることを目的として、平成21年4月に「診療録管理委員会」を発足しました。

当委員会では上記の患者様のプライバシー保護に加え、以下のような業務も行っています。まず入院と外来にカルテを分け、診療録管理庫にて管理を行う業務。またカルテ内で煩雑に分かれた書類等を時系列通りに並べ直すなどして、少しでもカルテを見やすくするような業務。さらに毎月すべての入院患者様の病名の統計をとり、この時期にはどのような疾病が多いのかなどの分析も行っています。

以上のような活動を行っている当委員会は、みなさまの目には届きにくい業務ではありますが、「患者様のプライバシーを守る」「診療の手助けをする」などの役割を担っており、これからも青山病院の縁の下で力持ちとなって、皆様のお役にたてるよう努力して行きたいと思っています。

臨床検査技師について 臨床検査科 芳村 千景

みなさんが病院を受診された時に、その症状に合わせて様々な検査が行われます。例えば血液や尿・便等の検体を使った検査や、心電図・エコーなどの直接患者さまに触れて検査する生理学的検査などです。臨床検査技師とは医師の指示に基づきこれらの検査を行う事が出来る国家資格です。当院の臨床検査室では4名の臨床検査技師が在籍し様々な検査を行っています。

近年は検査機器の発達に伴い検査の自動化が進んでいますが、全てを機械に任せるわけではありません。たとえば血液検査では日常的に機器のメンテナンスを実施し正しい検査結果を出すように気を配っていますし、検査項目によっては顕微鏡で技師が行う検査もあります。また心電図検査では機械を正しく患者様に装着し、診断しやすい結果を出すように努めています。

このように私たち臨床検査技師は、医師が病気の診断や治療方針を決定するのに必要な情報を正確に提供できるように細心の注意を払い検査を行っています。これからも患者様に安心して検査を受けて頂けるように責任を持って業務を行っていきたく思います。